

授業科目名 <英訳>	ケーススーパーヴィジョンII Practice in Case Supervision II			担当者氏名	教育学研究科 教授 桑原 知子	教育学研究科 教授 皆藤 章	教育学研究科 教授 松木 邦裕	教育学研究科 教授 岡野 憲一郎	こころの未来研究センター 教授 河合 俊雄	教育学研究科 准教授 田中 康裕	教育学研究科 准教授 大山 泰宏	教育学研究科 准教授 高橋 靖恵	教育学研究科 准教授 松下 姫歌	人文科学研究所 准教授 立木 康介
	配当学年	院	単位数		2	開講期	前期	曜時限	金3,4	授業形態	実習			
共用科目														
【授業の概要・目的】														
<p>「ケーススーパーヴィジョンI」に引き続いて、本研究科附属心理教育相談室において担当する事例について、個別の臨床実践指導（スーパーヴィジョン）により、個別指導を行う。これを通して、見立て、ケースマネジメント、臨床心理面接に関するさまざまな位相の知（技法を含む）を、さらに深く体得していくことが目的である。</p>														
【授業計画と内容】														
<p>担当事例について、各自に割り当てられた臨床実践指導者（スーパーバイザー）のもとで、原則として週に1回報告し指導を受ける。指導方法の詳細に関しては、スーパーバイザーと事前に十分に相談すること。</p> <p>また、各自が受けている指導に関して、授業担当教員と他の履修生を含むグループで共有する機会が必要に応じて設けられることもある。</p>														
【履修要件】														
<p>「インタークカンファレンス」「心理教育相談室相談実習」「ケースカンファレンス ～」も併せて履修すること。</p>														
【成績評価の方法・基準】														
<p>授業に積極的かつ真摯に取り組む姿勢が必要であり、それらを総合的に判断して評価する。</p>														
【教科書】														
<p>授業中に指示する</p>														
【参考書等】														
<p>（参考書） 授業中に紹介する</p>														
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））														
<p>日本臨床心理士会の定める臨床心理士の倫理規定を遵守すること。</p> <p>オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。</p>														